一般質問通告一覧

1	中村　彰男	1	本市の水道事業の将来予測と危機管理体制について
		2	本市の環境政策におけるごみ問題及び放射能対策について
		3	行政組織改編の効果について
2	野田　宏規	1	流山市のコンセプトである「都心から一番近い森のまち」のイメージ維持について
		2	流山市のブランドイメージについて
3	大塚　洋一	1	つくばエクスプレス高架下の活用について
4	加藤　啓子	1	平成32年度からスタートする総合計画策定における市長のビジョンについて
		2	市内公共施設への市民が利用しやすい整備の実現について
		3	流山市における特産品の開発について
5	中川　弘	1	マンモス校誕生に備えた教育委員会の体制強化について
6	青野　直	1	流山市総合計画後期基本計画における教育・文化の取り組み姿勢について
		2	第４期流山市障害福祉計画の推進策について
		3	南部地域の行政課題（赤城福祉会館・赤城児童センター・千葉県教職員住宅）について
7	森田　洋一	1	上下水道事業の健全な経営に向けた現状の取り組みについて問う
8	野村　誠	1	本市の防災対策について
		2	食品ロス削減について
9	乾　紳一郎	1	教育行政について
		2	国民健康保険について
		3	介護保険について
10	植田　和子	1	学童保育について
		2	新川耕地における大規模物流センター建設について
		3	火葬施設がある公営斎場について
11	徳増記代子	1	平和施策について
		2	教育行政について
		3	児童扶養手当について
12	戸辺　滋	1	母子健康手帳のサービス拡充について
		2	来庁者にやさしい、市役所庁舎内のあり方について
13	小田桐　仙	1	教育行政について
		2	産業振興について
		3	流山おおたかの森駅前市有地活用について
14	根本　守	1	自然災害の防災対策について市長に問う
		2	一級河川今上落の集中豪雨に対する排水整備対策について
15	西川　誠之	1	災害発生時の避難所運営における「トイレ対策」について
16	近藤　美保	1	窓口・庶務業務の効率化について
		2	対話型人工知能による問い合わせサービス導入について
		3	小中学生の荷物の重量化に伴う健康影響と対策について
		4	幼稚園の延長保育料補助について
17	西尾　段	1	流山市総合運動公園野球場の観覧席建設について
		2	将来的に予想される、市内小中学校の統廃合を見据えた計画について
18	楠山　栄子	1	ＮＨＫラジオ体操の普及による健康増進策について
		2	市内屋内体育館の管理点検の現状について
		3	防災行政無線の充実について
		4	向小金地域での行政サービスのあり方について
19	藤井　俊行	1	骨髄バンクドナー登録の推進及び移植に関する支援策について
		2	市民ニーズに対応した学童クラブの支援について
		3	本市の消防職員の採用時に於ける色覚検査の有無について
20	笠原　久恵	1	2025年問題に向けて介護現場における人材確保について
		2	高齢者ふれあいの家や学童クラブなどの多世代交流促進について
		3	名都借跨線橋道路拡幅改良事業及び東小学校前通学路道路拡幅整備事業の工事中、児童生徒の登下校やその他通行人の安全対策について
21	石原　修治	1	ボール遊びのできる公園の実現について
		2	初石駅東口開設について
22	阿部　治正	1	ＬＧＢＴなどの性的少数者を排除しない地域づくりについて
		2	2017年に成立した改正介護保険法に対する流山市の考え及び対応について

市長ではなく、子ども優先の学校規模を

日本共産党　小田桐　仙

問　**学校規模について、①おおたかの森小と新設小学校は、３～４校分に相当するのではないか。②１校あたり「最大48学級」との決定は行政の都合によるものか。また学校統廃合の根拠とならないか。③子ども中心の規模設定が必要ではないか。**

答　**学校教育部長**　学校規模や立地条件などの違いはあっても、常に子どもを中心とした視点に立って、子どもたちの学びの充実のためにいかに教育の質を確保するかを最優先に考えた上で、今後の課題に取り組んでいきたいと思います。

教育長　考え方によってはやむを得ないと捉えられるかもしれませんが、おおたかの森地区の児童数から推計したことですので、そのルールを全ての学校に当てはめて、統廃合していくというような考えは持っていません。

学校教育部長　本来は３つから４つの小学校が必要となるところが新設校１校ということについて、将来的なこと、現状を踏まえた上での決定だと考えています。

一級河川今上落の集中豪雨に対する排水整備対策について

自由民主党　根本　守

問　**和田堀都市下水路の調整池を無くした事によって、今上落にストレートに和田堀都市下水路からの水が流れてくる。今上落に流れる水量は最大どれくらいあるのか。**

答　**土木部長**　千葉県では（仮称）三郷流山橋建設に伴い、和田堀都市下水路の改修が発生することから、一級河川今上落流域の全域について水理解析を行いました。その結果、現状の樋管より毎秒約０・６立方メートルの放流量の増加が認められました。したがって、新橋建設に伴う和田堀樋管の改修後には、若干放流量が増えるとともに、三輪野山幹線との合流点で発生していた不正流が解消されると考えています。

今上落（加６丁目地先）

たかがトイレ、されどトイレが災害時一番重要

市民クラブ　西川　誠之

問　**災害発生時の直接死とは別の避難先でのトイレ事情等の使い難さで排泄を我慢し「エコノミー症候群」等と同様の症状で体調を崩し死に至る「関連死」のゼロを目指し仮設トイレの調達等を含めた市の対応及び啓発活動について問う。**

答　**市民生活部長**　トイレ対策の周知は、平常時の備えとして、広報、ホームページ、出前講座などを通じ、携帯トイレや簡易トイレの備蓄をするよう奨励しています。

仮設トイレの災害応援協定の関係ですが、一般的には災害の内容、被害の状況、規模によりますので、細目などは定めていないところが協定書の状況として今現在あるところです。

ただ、ご指摘のとおり、確実な確保という部分も考えなければいけないと思いますので、今後検討したいと思います。

小中学生の荷物が重すぎる！是非対策を！

流政会　近藤　美保

問　**保護者や子ども達から学校に持っていく荷物が重すぎるという訴えを頂いています。子どもの体重に対する割合が大きい場合が散見され健康への悪影響が懸念されるため、市として対策を講じるべきだと思いますが、いかがですか。**

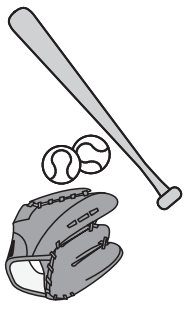
答　**教育長**　各学校では、児童生徒の登下校の荷物を減らすことができるよう、毎日持ち帰る必要がない学習用具については、教室内などに置いておける場所を設けています。しかし、小学校では図工や習字などの授業があるときに学習用具が多くなる場合や、学期末に配布物などを集中して持ち帰る場合があるなどが見受けられます。また、中学校では、通学用のかばんに加えて、部活動の道具や水筒など、荷物が多くなってしまう日があることは認識しています。

そこで、教育委員会としては、ご指摘いただいた内容をなるべく早く校長会で協議し、登下校時の配慮事項としてまとめ、周知徹底できるよう指導したいと思います。

野球場観覧席の寄附がさらに集まる取り組みを

市民クラブ　西尾　段

問　**静岡県掛川市では野球場の寄附総額のうち約２割を募金箱で集めた。本市でも同様の取り組みをしてはどうか。また、まだまだこの寄附が市民に知られていないため、「広報ながれやま」や市ホームページなどでさらなるＰＲをしてはどうか。**

答　**生涯学習部長**　募金箱設置の内容については、総合運動公園野球場に観覧席を設置するという一つの具体的な目標があるので、設置する場所も考慮して、施設の指定管理者と募金箱の設置場所など改めて協議したいと思います。

ＰＲについては、継続的な形がやはり効果を結んでいくと思います。「広報ながれやま」ならびに市のホームページはもとより、スポーツ施設でのＰＲ、そういったところにチラシなどを置ければと考えています。今後とも引き続きＰＲに努めていきたいと思います。